

国循・天理よろづ印 心エコー読影ドリル【Web 動画付】

泉 知里(編)

東京ベイ・浦安市川医療センター ハートセンター長

渡辺弘之

心疾患が増え続ける今、 ハートチームに必須の一冊

心エコーには読影が必要だ。私は、この書籍がハートチームに必須の一冊になると確信している。超高齢社会の中で心疾患は増え続けており、特に心不全症例の増加は顕著である。そのような社会的背景の中で、心エコー図検査の需要は今後も増え続ける。それは心エコーの特性がベッドサイドでいつでもリアルタイムに心疾患や血行動態を評価することができるからである。在宅医療でもクリニック診療でも病院の救急室でも病棟でも、あらゆる医療の現場に心エコー図検査は拡散していくだろう。

私が心エコーを学び始めた時、自分で創意工夫をして自由自在に画像を記録できることにワクワクした。妙な全能感があり、それはそれは楽しい時間だった。ところがある日、目の前の患者さんの心不全は3カ月前に予測できたことに気付かされることになった。自分が記録した心エコー図はきちんと読影されておらず、心不全発症を防ぎきれなかったのである。まさかその現場に自分が立ち会うとは想定外だった。学会で聞いたこと、教科書で読んだことが、目の前で起こっていることにつなげられなかったのである。

それはなぜか。自分のできの悪さを棚に上げると、「学び方」がなかった。いわゆる「教科書」があっても「ドリル」はなかったのである。私達が勉強するとき、教科書と演習、すなわち「ドリ

ル」はいつもセットだったはず。小学校からずーっとそうだった。なぜプロの現場にはそれがなかったのか、とても不思議である。

そこに登場したのが、この『国循・天理よろづ印 心エコー読影ドリル【Web 動画付】』である。こんな本は見たことがない。この本には泉知里先生とその仲間たちの経験が詰まっている。エビデンスに裏打ちされた知識はもちろん科学的思考の素材だが、臨床につなげるためには正しい経験が不可欠である。日本でも有数の施設から多くの若手医師と技師が参加した本書は、自宅で、あるいは職場で、かけがえのない心エコー図読影の経験を自分のペースで経験することができる貴重な書籍である。

ここからは、皆さんの出番だ。ハートチームに参加して心エコー図に触れようとお考えであれば、ぜひ本書を活用すべきである。成功した先輩たちは、必ず良い経験をしている。今度はあなたが本書を通じて知識と経験を手に入れる番だ。ぜひ、自分に投資してはいかがだろう。



●B5/頁192/2021年
定価：本体4,500円＋税
[ISBN978-4-260-04584-1]
医学書院 刊